

施策評価調書(3年度実績)

				施策コード	Ⅲ-2-(2)			
政策体系	施策名	芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり	所管部局名	企画振興部			長期総合計画頁	139
	政策名	芸術文化による創造県おおいとの推進	関係部局名	企画振興部、教育庁				

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	芸術文化ゾーンを核とした取り組み	芸術文化の創造性を生かした行政課題への対応	芸術文化を生かした地域づくりの推進

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		3年度			6年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125	
i	子どもたちが芸術文化に触れる機会(人)	①②③	H26	11,896	13,000	12,479	96.0%	13,750					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	概ね達成 新型コロナウイルスの影響による一部中止や実施方法の変更があったが、県立美術館の教育普及事業、NPO法人大分県芸術文化振興会議の文化キャラバン等による芸術家のアウトリーチ活動を実施し、目標値を概ね達成することができた。	概ね達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・第33回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)の開催に合わせ県立美術館で「宇宙展」を開催し会場間をつなぐシャトルバスを運行したほか、JR大分駅との共同企画による「OPAM at Platform of Oita Station」で大分駅プラットフォームに作品を展示するなど、多様な事業を展開した。
②	・芸術文化に触れる場づくりを推進するため、保育園や学校など15施設にアーティストを派遣してワークショップを開催したほか、音楽と美術をセットにした学校連携事業をモデル校1校120名に対して実施した。 ・文化活動を通じた特別支援学校の児童・生徒と高校生の交流(3回)や、県内の児童・生徒による作品展示の機会を通じ、相互理解の促進を図った。
③	・別府市内において、各所で地域を題材とした特徴的なインスタレーションやイベントを実施した「廣川玉枝 in BEPPU」や文化・芸術に関するイベントを集めた市民文化祭「ベップアートマンス」を開催することで、国内外に情報発信するとともに、地域の魅力増進を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(3年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	芸術文化施設を拠点とした観光循環創出事業	86.3	340
②	芸術文化ゾーン拠点創出事業	86.3	340
	みんなでつくる文化活動推進事業	100.0	337
③	芸術文化による地域おこし事業	159.6	341

【VI. 施策に対する意見・提言】

○第4回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 (R3.8)
・芸術分野はコロナ禍であるが引き続き力を入れて支援してもらいたい。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県立美術館とiichiko総合文化センターを芸術文化ゾーンの核として、県内各地の様々な取り組みとのネットワークの構築を図るとともに、芸術文化の創造性を活用した教育、産業、福祉分野等での取り組みを進める。 ・県立美術館を中核とし、県内各地域の文化施設や観光地を往来・循環しながら、地域文化や歴史等を体験するカルチャーツーリズムを推進していく。 ・コロナ禍においても芸術作品を鑑賞することができるデジタルミュージアムの拡充を図るとともに、デジタルサイネージの設置や多言語化等インバウンド対応への取り組みを進める。 ・本県芸術文化の拠点としての魅力をさらに高めるため、iichiko総合文化センター天井耐震改修工事に合わせ、ユニバーサルデザイン化や設備の刷新を進める。 ・文化活動を通じた特別支援学校と県立高校の相互理解の促進や誰もが参加できる活動機会の創出に向け、共同制作を通じた交流を進める。